

毎週日曜発行
2021 5/16

こども新聞
週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



気仙沼湾守る「森は海の恋人」運動って？

ニュース

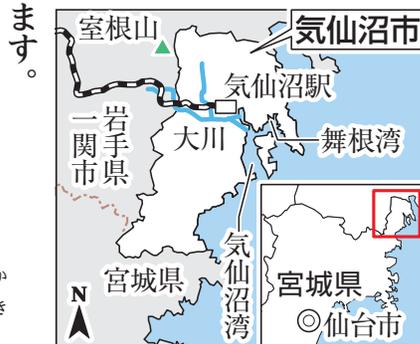


漁師が山に木を植える「森は海の恋人」運動って、聞いたことないかな？ 運動を始めた気仙沼市の畠山重篤さん(77)に取材してきたよ。

畠山さんは同市唐桑町の舞根湾でカキやホタテを育てています。気仙沼の海は岩手県一関市の室根山などから流れる大川が森の養分を運び、豊かな環境となっていて



森は海の恋人植樹祭で、山に苗木を植える子どもたち=2015年6月、一関市室根町



ます。

畠山さんたち「牡蠣の森を慕う会」は1989年から毎年6月、大川の源流部の山にブナなどの広葉樹を植えています。植樹祭には全国から約1500人が集まり、3万本以上の苗木を植えてきました。今年は新型コロナウイルスの感染防止のため中止が決まりま

したが、植えられた木は今では大きく育っています。



きっかけは1970年代ごろから気仙沼湾が汚れ、カキが育たなくなること。プランクトンが異常に増える赤潮も起き、白いカキの身が赤くなり売れなくなりまし

山に目を向けると、この頃は生活の燃料がまきや炭から石油や電気に代わり、木材も安い外国産が使われるようになりまし。森は「役に立

漁師自ら植樹 養分を川へ

ない」と手入れされなくなり、荒れていました。



学問の世界で森、里、海は別々に研究されてきました。畠山さんは漁師の経験から「森が荒れば海も荒れる。海の環境を良くするには、川の上流の森が元気でなければならぬ」と植樹を開始。子どもたちが養殖を体験し、自然を学ぶ教育にも力を入れました。

海はやがて豊かさを取り戻し、活動は国内外から評価され「森里海連環学」という一つのつながった学問が生まれました。畠山さんは2012年、国連の機関が森林保護をした人を表彰する「フォレストヒーローズ」にも選ばれました。

東日本大震災で畠山さんの漁場も海も大きなダメージを受けましたが、たくましく復興しました。畠山さんは言います。「全国の沿岸域の人が森と川、海を大事にすれば、日本は大丈夫だ」

(8面に続く)

今週の注目ニュース

◇17日 「おかえりモネ」スタート
気仙沼市や登米市を舞台にしたNHKの朝の連続テレビ小説「おかえりモネ」が始まるよ。清原果耶さん演じる気仙沼市出身のヒロインが登米市に移り住み、気象予報士として成長する姿を描くんだって。

きょうの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 鉄分でつながる 森と海

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ